

第七十九回
帝國議會
貴族院

國民更生金庫法中改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十七年二月九日(月曜日)午後一時三十分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今ヨリ委員會議ヲ開會致シマス、只今迄ノ御質問ハ日本銀行法ニ付テノ御質問デゴザイマシタガ、本日カラ、日本銀行法ノ外ニ戰時金融金庫法案及臨時資金調整法中改正法律案、此ノ二ツヲ込メテ御質問ヲ願ヒタイと思ヒマス、只今申上ゲマシタ通り大藏大臣ハ今日二時半頃ニ來ラレコトガ出來ルダラウト云フコトデゴザイマス、伊藤男爵

○男爵伊藤文吉君 日本銀行法ノ改正ニ付

キマシテハ既ニ慎重審議、質疑應答ガアリマシタノデゴザイマスガ、今日又他ノ戰時金融金庫法案其ノ他ニ付テノ御質問ガアルコトト思ヒマスルガ、此ノ際雙方ニ關聯シタヤウナ質問デゴザイマスルノデ、質疑ヲ御許シテ願ヒマス、大體衆議院ニ於キマスル特別委員會ノ速記録モ通讀致シマシタ、又此ノ委員會ニ於ケル質疑モ拜聽致シマシテ、成ルベク重複ヲ避ケル積リデゴザイマスルガ、唯今日私ガ御質問申上ゲル點ニ付キマシテハ、祕密ニ互ル事項モアルノデゴザイマシテ、速記録等ニ於テモ速記ヲ止メラレタ箇所ガ多イ、サウ云フ部門ニ付テ質疑致シタイと思ヒマス、質疑ノ方ハ速記ニ殘ッテモ差支ナイノデアリマセウガ、御當局ニ於キマシテ、適宜速記ヲ止メテ御回答ヲ願ヒマシテ一向差支ナイノデアリマス、其ノ點ヲ豫メ申上ゲテ置キマス、此ノ度ノ日本銀行法ノ改正ハ誠ニ劃期的ト申シマスル

カ、非常ナル重大ナ改正デゴザイマスル、其ノ改正ノ要項モ種々ゴザイマスルガ、ソレゾレ皆重大ナコトデゴザイマスル、唯私ハ今日其ノ改正セラレマシタ事項ガ今後大東亞共榮圈ト申シマスルカ、外地、外國トノ關係ニ付キマシテ御質問申上ゲルノデアリマスルガ、此ノ度ノ管理通貨制度ノ確立ト云フコトハ實ニ重大ナコトト存ジマス、是非非常ナル重大ナ改革點ト存ジマス、ソレカラモウ一ツ、外地、外國ノ關係ニ於キマシテ起リマスル日本銀行ト海外ノ中央銀行トノ直接ノ關係ヲ規定セラレテ居リマス、私共拜察致シマスルニ、是ハ誠ニ宣戰布告ノ大詔ヲ拜シテ以來、果敢ナル皇軍ノ奮戰ニ依リマシテ大戰果ヲ擧ゲタ賜ト存ズルノデアリマス、此ノ戰果ニ依リマシテ大東亞共榮圈ニ於ケル敵性通貨ノ驅逐ニ依リマシテ、將來大東亞ニ於ケル管理通貨ノ共通性トモ申シマスルカ、サウ云フ可能性ガ出テ來タ、此ノ大戰果ナクシテ此ノ日本銀行ノ斯クノ如キ劃期的改革ハ出來ナカッタノデハナイカト存ズルノデアリマス、誠ニ御同慶ノ至リニ存ズルノデアリマス、斯ウ云フ狀況ニナリマシタノハ誠ニ喜バシキ事態デゴザイマスルガ、私共察シマスルニ、大藏當局ト致シマシテハ、支那事變中四年有半ニ互ツテ支那ニ於ケル占領地域ニ於ケル通貨問題ニ付テハ、非常ナ御苦心ガアッタコトト存ズルノデアリマス、是ハマア事變ノ經過ヲ見マシテモ、不擴大カラ擴大ニナリ、斯クノ如キ情勢ニナルコトハ誰シモ想像出來ナ

カッタ事態デアアルノデアリマシテ、從ッテ事變其ノモノガ不思議ナル形態デ起ッテ居リマスルガ、其ノ後ノ經過モ誠ニ不可解ナ狀態ニナッテ居ル、從ッテ支那ニ於ケル占領地域ニ於ケル通貨問題ノ如キモ、マア斯ウ申シテハ失禮デゴザイマスケレドモ、政府當局トシテモ準備ガナカッタ、確信ガナカッタ云フヤウナコトガ、此ノ支那事變中ニ於テ見ラレタノデハナイカト思フノデアリマス、ソレデ私共ハ斯ウ云フ方面ハ能ク分ラナイノデアリマスケレドモ、相當有識者ノ間ニハ、支那ニ於ケル通貨問題ニ關シマシテ憂慮シタ筋モアルノデアリマス、然ルニ此ノ度此ノ大戰果ノ結果、日本銀行ノ大改革ニ依リマシテ管理通貨制度モ確立セラレ、從ッテ大東亞共榮圈ニ於ケル將來ニ於ケル通貨制度モ、此ノ一筋ニ進ンデ行クト云フ見透シガ付イタノデハナイカト存ズルノデアリマス、從ヒマシテ大體此ノ支那事變中政府當局トシテ御困リニナッタ支那ニ於ケル占領地域ノ通貨問題ニ付テ、ドウ云フ御苦心ガアリマシタカ、サウ云フ點モ伺ヒタイノデアリマス、今後此ノ改正ニ依リ、又敵性通貨ノ驅逐ニ依ッテ、支那占領地域ニ於ケル通貨對策ガ變更セラレルノデハナイカト存ズルノデアリマスガ、サウ云フ御考ガアリマスレバ、ドウ云フ風ニシテ行クノダト云フコトモ伺ヒタイ、從ッテ私共ハ占領地域ニ於ケル通貨工作ハ好轉シテ行クノデハナイカト期待シテ居ルノデアリマスガ、其ノ邊ニ對スル御見透シモ伺ヒタイノデア

リマス、又先程申シマシタ此ノ改正法ニ依リマシテ、日本銀行ト直接外國ノ中央銀行トノ交渉モ開ケルト思ヒマス、此ノ法案ガ通過致シマシタ曉ニハ、何かモウ既ニ日本銀行ト北支、中支ニ於ケル中央銀行トノ直接交渉ノ行ハレル御計畫ガアルノデアリマセウカ、ドウデアリマウカ、大體先ツ其ノ點デ第一ノ質問ヲ終リマス

○政府委員(山際正道君) 只今ノ御尋ノ中、事變勃發以來我が國ガ支那其ノ他ノ地域ニ於テ經驗致シマシタ通貨問題、其ノ通貨問題ノ上ニ生ジマシタル所ノ各種ノ困難ナコト、又ソレニ對シテ執リマシタ對策若シクハ今後ノ方針ト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ後刻爲替局長ガ參リマシテ御説明ヲ申上ゲルコトニ致シテ居リマスルカラ、暫ク御猶豫ヲ願ヒタイと思ヒマス、唯今回日本銀行法案ヲ制定致シマシテ、ソレガ實施ヲ見マシタ曉ニ於キマシテ、何カ直チニ北中支方面ノ中央銀行トノ間ニ具體的ナ關係デモ發生スルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、此ノ點ハ只今ノ所本法案成立ノ曉直チニ北支、中支等ノ中央銀行、例ヘバ北支ノ聯合準備銀行デアリマスルカ、中支ノ儲備銀行デアリマスルカ、是等ノモノト日本銀行トノ間ニ直接爲替上ノ取極ヲスルトカ、左様ナコトハマダ豫定ハ致シテ居リマセスノデアリマス、漸次今後事態ノ進展ニ伴ヒマシテ、左様ナ問題ガ自然具體的ニハ生ジテ來ルカト考テ居リマス

○男爵伊藤文吉君 只今質問申上ゲマシタ

點ハ相當重要ナモノヲヤウニ考ヘマスルガ、
爲替局長ハ御見エニナルノデアリマセウカ
○委員長(伯爵溝口直亮君) モウ直グ參ル
サウデアリマス

○男爵伊藤文吉君 商工省ノ貿易局長ハマ
ダ御見エニナリマセウカ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 伊藤男爵ニ申
上デマスガ、今貿易局長官ハ衆議院デ答辯
シテ居ルサウデゴザイマス、ソレガ濟ミマ
シトラコッチニ參ルサウデゴザイマス

○男爵伊藤文吉君 ドナタカ貿易局ノ御方
ハオイデニナリマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 貿易局カラハ
誰モ來テ居ラレマセ

○男爵伊藤文吉君 貿易關係ハ大キナ問題
デゴザイマセヌノデ、ドナタデモ宜シウゴザ
イマスガ、寧ロ實情ヲ聽キタイノデアリマ
ス、ソレデハハチヨット今伺ヒマス、貿易關係
ノ方ハ後廻シニ致シマシテ、銀行局長ガイラッ
シヤイマスカラ其ノ點ノコトカラ、變ナ工
合デゴザイマスカレドモ伺ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) ドウゾ

○男爵伊藤文吉君 實ハ貿易局ノ方ガ見エ
マシトラバ、日滿兩國ノ貿易ノ狀況、貿易
ノ決済方式等ノ最近ノ狀況モ伺ヒタイと思
ヒマシタ、ソレニ關聯致シマシテ滿洲國ノ
産業資金、此ノ滿洲國ノ産業資金ヲ今迄ド
ウ云フ風ニ賄ッテイラシヤイマシタノデア
リマセウカ、又滿洲國ノ中央銀行ト内地金
融界トノ關係ガドウデアッタノデゴザイマ
セウカ、常ニ大藏大臣ハ資金蓄積ト申シマ
スカ、ソレデ産業資金ヲ賄フノダト云フ御
話デアリマスルガ、滿洲國ノ狀態ガ、滿洲
國自體ニ於テ其ノ産業資金ノ充當ト云フモ
ノハ、賄フコトハナカノ困難デアッテ來

タノデハナイカト存ジマス、最近ノ狀況ガ
如何デアリマスルカ、又今度斯ウ云フ管理
通貨ノ制度ニナリマシテ、日本銀行ト滿洲
中央銀行トノ關係ガドウナルカ、其ノ點ヲ
一ツ伺ヒタイノデゴザイマス

○政府委員(山際正道君) 日滿間ノ資金關
係ニ付キマシテハ、根本ノ計畫ト致シマシ
テハ、毎年度對滿投資計畫ヲ樹立致シテ居
リマス、之ニ依リマシテ、日滿間ノ資金ノ
決済關係ヲ調査致シマシテ、例ヘバ本年度
ニ於テ十億圓ノ對滿投資ヲシヨウト云フヤ
ウナ計畫ヲ立テルノデゴザイマス、其ノ計
畫ニ從ヒマシテ、或ハ滿洲關係ノ起債ヲ認
メルトカ、或ハ資金調整法上資金ノ融通ヲ
許可スルトカ、或ハ爲替管理ノ關係ニ於テ
送金ヲ認メルトカ、左様ナ取計ヲヒテ致シ
テ參ッテ居ルノデゴザイマス、唯ソレガ全
體トシテノ計畫デゴザイマスルガ、具體的
ニ、時間的ト申シマスカ、滿洲國ノ爲替
問題ハ常時ハ生ジテ居ル關係デゴザイ
マシテ、其ノ間ノ調節ハ滿洲中央銀行ト日
本銀行トノ間ニ於キマシテ、其ノ決済ヲ付
ケテ居ルノデゴザイマス、即チ滿洲中央銀
行ニ對シマシテハ、必要ナ場合ニハ日本銀
行ガ相當額ノ「クレデット」ヲ設定スル、或
ハ又然ルベキ資金ヲ融通スルト云フ方法ヲ
採ッテ居リマシテ、之ニ依リマシテ日滿間ノ
資金ノ尻ヲ決済スルト云フコトヲ致シテ居
リマス、又御承知ノ通り滿洲ト北支ノ間ニ
於キマシテモ、爲替關係ガ起ッテ居リマス、
是ガ爲ニ必要ナ滿洲ノ爲替決済資金ニ付キ
マシテモ、矢張り日本銀行ガ滿洲中央銀行
トノ間ニ取引ヲ致シマシテ、季節的ナ不足
資金ハ日本銀行カラ之ヲ立替ヘテ融通ヲス
ルト云フ方法ニ依リマシテ調節ヲ採ッテ居

リマス

○男爵伊藤文吉君 滿洲國ニ於ケル産業資
金ノ調達方ハ、サウスルト滿洲國ニ於ケル
公債ト申シマスルカ、ソレト内地カラノ送
金ト此ノ二重建ノヤウニ今伺ヒマシタ、
大體近頃一年ドノ位ノ産業資金ガ行ッテ、其
ノ充當割合ト申シマスカ、滿洲國自體デ賄
フ額ト内地ノ額ハドウナッテ居リマスカ、御
答辯ニ依ッテハ速記ヲ止メラレルコトガア
リマシテモ一向差支アリマセ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ
(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メテ
○男爵伊藤文吉君 サウ致シマス此ノ滿
洲國、北支聯合準備銀行ト申シマスカ、日
本銀行ハ今迄直接色々關係ガアルヤウニ今
伺ヒマスノデ、此ノ度ノ改正デ、サウ云フ
コトガ出來ルヤウニナルコトト私ハ存ジテ
居リマシタノデ、ソレハ何カ特殊ノ外
交ノ取極カ何カゴザイマシタノデセウカ

○政府委員(山際正道君) 現在滿支關係ニ
於キマシテ、直接日本銀行ト取引ヲ致シテ居
リマスノハ滿洲中央銀行デゴザイマス、而
シテ滿洲中央銀行ハ東京ニ其ノ支店ヲ持ッ
テ居リマシテ、是ガ内地各銀行ト同ジヤウ
ナ取次ヲ致シテ居リマス、左様ナ取引ノ一
ツト致シマシテ、日本銀行トノ間ニ資金ノ
融通、又其ノ拂戻、普通ノ取引ヲ致シテ居ル
ト云フ關係ニナッテ居リマス、中國聯合準備
銀行ノ方ハ直接ニハ日本銀行トハ取引ヲ致
シテ居リマセヌ、同時ニ又支店モゴザイマ
セヌ、直接ニ聯關ハマダ生ジテ居リマセヌ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 伊藤男爵ニ申
上デマスガ、爲替局長及貿易局長官ガ見エ
ラレマシタ

○男爵伊藤文吉君 チヨット銀行局長ニモ
ウ一點伺ヒタイノデ、サウスルト此ノ
度ノ日本銀行ノ改正ニ依リマシテ滿洲トノ
關係デゴザイマス、通貨其ノ他貿易決済
尻ニ付テ何カ變化ガ起ルノデゴザイマス
○政府委員(山際正道君) 滿洲中央銀行ト
日本銀行トノ取引關係ニ於キマシテハ、モ
ウ現在既ニ十分満足スベキ程度ニ其ノ取引
ガ行ハレテ居ルト思ヒマスノデ、新法案成
立ノ結果更ニ附加ハルト云フ點ハマダ具體
的ニハ考ヘテ居リマセ

○男爵伊藤文吉君 先程質問致シマシタ中
ニ、爲替局長ノ御答辯ヲ要スルヤウナ問題
ガアッタノデゴザイマスガ、繰返スノモドウ
カト思ヒマスガ、先程御話シタコトニ付テ
願ヘマシタラ結構デゴザイマス

○政府委員(原口武夫君) 御質問ノ要點
ハ、支那事變以來支那ニ於ケル色々ノ通貨
問題ニ付キマシテ大キナ問題ニナッタ點、或
ハ之ニ付テ政府ガ苦心ヲシタト申シマス、
施策シタコトハドウ云フコトカ、ソレカラ
南方ノ方ノ通貨ノ問題ニ付テ今後ドウ云フ
風ニ...

○男爵伊藤文吉君 チヨット申上デマス、南
方ノ方ハ又後ニ申上デマス、支那ニ於ケル
通貨問題ガ、此ノ日本銀行改正法ノ詰リ管
理通貨ヲ確立シマシテ影響ガアルノデハナ
イカ、工作ガヤサシクナルノデハナイカト
云フヤウナコトヲ伺ッタルノデゴザイマス
○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ
下サイ
午後二時三十分速記中止
午後二時四十六分速記開始
○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メ
○男爵伊藤文吉君 昨年ノ七月末資産凍結

サレマシタ後ニ、「タイ」、佛印ト本邦トノ貿易狀況ハドウ云フ風ニナツテ、ドウ云フ狀況デアリマシタカ、又其ノ爲、爲替決濟ノ方式モゴザイマセウト思フノデアリマスガ、大體ドウ云フ風ニサレテ居ルカ、輸出入ノ狀況モ伺ヒタイシ、又今後ハ其ノ貿易狀況ガ良クナルノデアリマセウカ、サウ云フ場合ニ於ケル決濟方法ニ又何等カノ工夫ガオアリニナルノデアリマセウカ、御答辯ハ速記ヲ止メテ戴イテ結構デアリマス

○委員長(伯爵藩口直亮君) 速記ヲ止メ

午後二時四十七分速記中止

午後三時十五分速記開始

○委員長(伯爵藩口直亮君) 速記ヲ始メテ

○男爵伊藤文吉君 銀行局長ニ極ク簡單デ

ゴザイマスガ、此ノ間日本銀行ノ通貨ノ限

度ニ付テ色々質疑應答ガゴザイマシタ中ニ、

昨年ノ四月ニ大藏大臣ガ御決定ニナツタ

ノガ四十七億圓、年末ニハ限外發行ガアッテ

六十二億デゴザイマシタカ、ト云フヤウナ

譯デアリマシタ、無論其ノ後スツト回收セラ

レテ居ルノデアリマスガ、一月以後最近ニ

至リマスル發行高ノ狀況ハ如何デゴザイマ

セウカ、其ノ狀態ニ依リマシテハ、何レ此

ノ總豫算額モ更ニ十七年度ニ殖エルノアリ

マス、四月以後ノ通貨ノ限度モ相當裕リヲ

付ケナケレバナラヌノデヤナイカト思ヒマ

スノデスガ、其ノ邊ノ御見込ト申シマスガ、

大體最近ノ發行額ガ標準ニナルノデハナイ

カト思フノデゴザイマスルケレドモ、チヨッ

ト御聽カセヲ願ヒタイ

○政府委員(山際正道君) 只今決メテ居リ

マスル發行限度ハ御示シノ通り四十七億圓

デゴザイマスガ、昨年末ニ於キマシテハ只

今御話ノヤウニ、六十二億三千萬圓ノ金額

迄上ツタノデアリマスデ、年ヲ越シマシテカ
ラ比較的其ノ收縮狀況ハ順調デゴザイマス、
併シ此ノ四十七億圓ノ限度内ニ引込ミマス
ル機會ハ到頭ゴザイマセスデ、最低四十八
億圓臺迄下リマシタケレドモ、再ビ一月末
ニ於キマシテ月末資金ノ關係カラ上昇致シ
マシテ、五十億圓ヲ少シク超エルヤウナ程
度ニ迄膨脹致シマシタ、只今又ソレガ稍、收
縮ノ狀況ニ入リマシテ、五十億圓見當ヲ前
後致シテ居リマス、此ノ情勢ヲ以テ押シマ
スレバ、御話ノヤウニ最近十七年度ノ豫算
ニ付テモ御協賛ヲ願ヒ、十七年度ニ於ケル
國債發行額モ相當多額ニ上リマシテ、撒布
セラレマスル資金ノ額モ相當巨額ニ達スル
關係モゴザイマスルカラ、恐ラクハ新年度
ヲ目標ト致シマシテ更ニ發行限度ヲ改訂
致シマシテ、通貨操作ノ上ニ相當ノ裕リヲ
置クト云フコトモ必要カト考ヘマス、實ハ
ソレ等ノ點ニ關シマシテ、目下日本銀行其
ノ他ノ關係方面ト協議ヲ進メテ檢討致シテ
居リマスル最中デゴザイマス、恐ラクハ左
様ナ改訂ノ運びニ相成ルデハナイカト考ヘ
テ居リマス

○男爵伊藤文吉君 私ノ質問ハ是デ終リマ

ス

○子爵裏松友光君 戰時金融庫法案ニ付

キマシテ二、三御尋致シタイト思ヒマス、

從來融資金命令ニ於テ兎ニ角必要ノ資金ヲ

償シテ居リマシテ、ソレニ依ッテ生産擴充モ

シテ居ツタノデゴザイマスガ、ドウモ其ノ融

資金令ダケデハ不満足デアアル、サウシテ今

度斯ウ云フモノヲ作ラレタト思ヒマスガ、

從來ノ融資金令ダケデハ到底駄目ナモノデ

ゴザイマセウカ、ドウデゴザイマセウカ、

其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐君) 御話ノヤウニ現在
迄必要ナル資金ハ一般金融機關又ハ融資金
命令ニ依ッテ今日迄賄ツテ參ツタ譯デアリマ
スガ、今次ノ戰爭ノ勃發ト共ニ、産業再編
成或ハ國家生産力ノ擴充ト云フヤウナ資金
ノ需要ガ益々増大致シマシテ、一方ニ於キ
マシテ現在ノ融資金命令ハ個別的ニ損失ノ補
償ヲ致シマシテ、融資金命令ヲ出スト非常ニ
面倒ナ手續ガ要ルノデアリマス、ソレデス
ウ云フヤウナ情勢ニナリマシテ包括的ニ、
ソレヲ專門トシテ行フ機關ヲ設ケルコトガ
適當ダ、斯様ナ考カラ融資金命令ノ制度ヲ存
續サセル外ニ此ノ金庫ヲ設立スル、斯ウ云
フヤウナ考ヘ方ヲ致シタノデアリマス

○子爵裏松友光君 只今ノ説明デ大體了承

致シマシタガ、此ノ戰時金融庫ト云フモ

ノガ出來マシテモ、從來ノ通り融資金命令

リ、シンデケケト團ノ活動ナリト云フモノ

ハ其ノ儘存續シテ、ソレハソレトシテ、矢

張り大イニ資金ノ點ニ活躍スル、斯ウ云フ

コトニナルノデゴザイマスガ

○政府委員(田中豐君) 御話ノ通り金庫設

立後ニ於キマシテモ、融資金命令ノ制度ハ存

續致シマス、又時局共同融資金團、之モ殘リ

マシテ從來ノ通り活躍シテ行クト云フコト

ニ相成ルト思ヒマスガ、唯強制融資金命令

點ニ付キマシテハ、サウ云フ危險ナ金融ト

申シマスガ、多少從來ノ金融團カラシテハ、

資金ノ調達ノ困難ナ金融ヲ專門トシテ扱フ

金庫ガ出來タコトデアアルカラシテ、自然融

資金令デ興業銀行等ノ取扱フ分量ハ從來ヨ

リ減シテ來ルカト考ヘマスガ、制度トシテハ

存續致シマス

○子爵裏松友光君 只今ノ御説明カラ考ヘ

テ見マス、戰時金融庫ト云フモノニハ

マアチヨツト通俗ナ言葉デ言ヘバ、惡質ノ貸
付バカリガ集ルヤウニナリハシナイカ、良
イモノハ皆今迄ノ融資金命令ナリ、「シンデ
ケート」デヤツテシマツテ、惡イモノバカリコッ
チヘ行ツテシマフト云フヤウニナリハシナ
イカ

○政府委員(田中豐君) 御尤モナ御尋デゴ

ザイマスガ、良イ惡イト申スノハ適當カド

ウカ分リマセスガ、從來ノ一般ノ金融機關

カラハ貸シニクカッタ、從來ノ金融團カラハ

多少危險ガアルトカ、或ハ將來ノ見透シガ付

カナイト云ツタヤウナ關係カラ、貸スコトヲ

躊躇スルヤウナ資金ノ融通ガ多ク茲ニ參ル

コトニナリマス、從ッテ或意味ニ於テ惡イモ

ノガ茲ニ集ルト云フコトニナルカ知レマセ

スガ、ドウシテモサウ云ツタ資金モ此ノ際供

給シナケレバナラナイ、併シ其ノ事業ハ將

來ノ見透シガ十分ニ立タナイ、斯ウ云ツタヤ

ウナモノデ、一般ノ金融機關カラ資金ノ融

通ヲ受ケルコトガ困難デアリマス爲ニ之ヲ

設ケル、斯ウ云フコトデゴザイマシテ、或

意味ニ於キマシテハ相當危險性ノ大キナ資

金ノ融通ガ此ノ金庫ニ集ル、斯様ニ考ヘテ

居リマス

○子爵裏松友光君 モウ一點伺ヒタイノデ

ゴザイマスガ、此ノ戰時金融庫ニ於キマ

シテ、未動遊休設備ヲ保有シト云フヤウナ

コトガ此ノ業務ノ中ニゴザイマスルガ、サ

スレバ先達テ出來マシタ産業設備營團ト云

フヤウナモノトドウ云フヤウナ關係ガゴザ

イマセウカ、同ジヤウナモノガ出來ルノデ

ゴザイマスガ

業務以外ノ各種ノ業務ヲ營ミマス、併シナガラ其ノ關係ノアル部分モアルノデアッテ、兩者ノ業務ガ關係アル部分ヲ考ヘテ見マスト、先ヅ第一ハ産業設備營團ニ於キマシテ、國家ノ緊要産業ニ屬スル設備ヲ建設スルト云フコトガアリマスガ、此ノ點ガコナラノ國家ノ緊要産業ニ對スル資金ノ融通ト云フコトト關聯ヲ持ツ譯デアリマスガ、産業設備營團ニ於キマシテハ何ト申シマスカ、サウ云フ設備ヲ擴張、増設スルコトガ相當危險度ガ高クテ、企業者ヲシテ自ら建設セシメルコトガ著シク困難デアル、斯ウ云ツタヤウナ場合ニ所謂國有民營的ナ組織トシテ、

リマス、從ヒマシテ何レモ政府ノ決定シマシタ産業方針ニ基キマシテ、産業設備營團ヲシテ建設セシムベキモノ、或ハ産業設備營團ヲシテ買上ゲシムベキモノト云フコトガ決リマシタ後ヲ、此ノ戰時金融金庫ノ方ガ金融的ナ途ヲ付ケル、斯ウ云フコトニ相成リマス、何レモ政府ノ具體的ニ決ツタ方針ニ基キテ、ソレレノ分野ニ於テ實行機關トシテ働ク、斯ウ云フコトニ相成ルト思ヒマス

コトハ、其ノ場合ガ出テ來ナイモノト考ヘマシテ、特別ナ規定ハ置イテ居リマセヌ、左様ナ趣旨ニテ了解シテ居ルノデアリマス

云フノハ戰時中ノ意味ト解スルノデアリマスガ、サウ致シマスト戰爭ガ繼續シテ居ル間ダケ此ノ法律ガ適用サレル結果ニナルノデアリマスルガ、ドウモ治安ノ維持ニ關スル法規デアルトカ、或ハ戰爭完遂ニ直接關係ノアル法規デゴザイマスルナラ、戰爭中ト云フコトガマア餘程ハツキリスルノデアリマスガ、本法ノヤウナ生産擴充、産業再編成ト云フヤウナコトヲ目的トシテ居ル金融ニ付キマシテハ、ドウモ戰爭ガ熄シタ直グ其ノ必要ガナクナルノデナクシテ、寧ろ戰爭ガ熄シタ後モ暫クノ間ハ……却テ戰爭ガ熄シタ後モ必要ナ事業ガ始ルコトモ想像ガサレルノデアリマシテ、戰爭中ダケト云フ立テ方ガドウモ適當デナイヤウニ考ヘルノデアリマスガ、寧ろ是ハ戰爭ノ爲ニ其ノ必要ガ起ルニハ違ヒナイノデアリマスケレドモ、此ノ法律ヲ適用シテ行ク上ニ於テハ戰爭中デナクシテ、戰爭ガ熄シタ後マダ暫クハ寧ろ當然必要ノヤウニ考ヘラレルノデアリマスカラ寧ろ戰時ト言ハナイデ、或ハ臨時ト云フヤウナ意味ノ方ガ適切ナヤウニ考ヘルノデアリマスガ、ソコハドウ云フ關係デアリマセウカ

○子爵松友光君 只今ノ政府委員ノ御説明ニ依ッテ大體了承致シマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○政府委員(山際正道君) 日本銀行ガ存續致シマスル限り、少クトモ四分ニ達スル迄ノ剩餘金ト云フモノハ政府デ補給ヲ致シマス、ソレハ此ノ四十條ノ規定ニ依リマシテ左様ナ結果ニ相成ルノデアリマスガ、假ニ解散ノ事由ヲ生ジマシタヤウナ場合ニ於キマシテモ、如何ニ半端ナ事業年度デアリマシテモ、最終ノ事業年度ニ於キマシテ矢張り此ノ規定ガ働キマシテ、少クトモ年四分ノ配當ハ行ヒ得ル狀態ニ日本銀行ヲ置クト云フ解釋ヲ採ッテ居リマス、從ヒマシテ假ニ解散ヲ必要トスル事態ガ起キマシテモ資本ノ缺陷ハ生ジテ居ラス、斯様ニ考ヘマスルノデ、先程御答ヘ申上ゲマシタヤウナ解釋ヲ採ッテ居ル次第デアリマス

○政府委員(田中豐君) 此ノ第一條ノ「戰時ニ際シ」ト云フノハ、大體御話ノヤウニ戰時ヲ中心ト致シマシテ、此ノ戰時ニ必要ナ生産擴充、或ハ産業再編成ト云フコトノ爲ニ此ノ金庫ヲ設ケル譯デアリマスガ、戰時ノ解釋ト致シマシテハ、開戰シテ平和克服ノ其ノ瞬間迄ト云フヤウニ嚴格ニハ考ヘテ居リマセヌデ、戰爭ヲ中心ト致シマシテ其ノ準備期間、後ノ又善後措置ノ期間モ或程度含ミ得ルト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、從ヒマシテ此ノ戰時ガ平和ニナリマ

國ニ代ッテ産業設備營團ガ建設サレル、斯ウ云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、從ッテ此ノ面ニ於キマシテ産業設備營團ノアリマス部分ハ、相當限ラレタ範圍デアリマシテ、戰時金融金庫ニ於キマシテハ危險度ガ其處迄達シナクテ、企業者ヲシテ自ら建設セシメテ然ルベキモノダト云フ場合ニ於テ、一般ニ特別ナ金融的助成ヲ與ヘテ、サウ云フ設備ノ増設ヲ促サウ、斯ウ云フコトニ相成ルノデアリマス、又御話ノ未動遊休ノ設備ノ面ニ於キマシテモ、産業設備營團ニ於キマシテハ、政府ノ決定致シマシタ整理方針ニ基キテ、「スクラップ」トスル爲未動遊休設備ヲ買上ゲル、或ハ戰時中維持ヲ必要トスル、戰時中保有セシメルト云フヤウナ設備ニ付キマシテモ、當業者ヲシテ保有セシメルコトガ著シク困難ナモノヲ買上ゲマシテ、産業設備營團ガ保有スルト云フコトニ相成リマスガ、其處迄行カナイ、企業者ヲシテ自ら保有セシメテ然ルベキモノニ付キマシテ、此ノ金庫ガ特別ノ金融的助成ヲ行フ、斯ウ云フコトニ相成ルト思フノデア

○岩田宙造君 戰時金融金庫法案ニ付デニ三御尋ネシタイノデアリマスガ、其ノ前ニ日本銀行法案ニ付テ一ツダケチヨット御尋ネシタイノデアリマス、今度ノ日本銀行ノ出資者ノ責任ハ、矢張り其ノ引受ケタ出資金額ニ限ル御趣旨ダラウト思フノデアリマスガ、チヨット其ノ規定ガ見エナイヤウデアリマスガ、其ノ關係ハドウ云フ風ニナルノデアリマスカ

○政府委員(山際正道君) 其ノ點ハ、直接其ノ點ヲ明カニ致シマシタ條文ハゴザイマセヌガ、此ノ今回ノ改組ニ依リマシテ株主ノ持ッテ居リマスル權利ガ出資ニ振替ヘラレマス場合ニハ、總テ全額拂込濟ノ出資ニ振替ヘルコトニ附則ニ於テ規定致シテゴザイマス、而シテ今回ノ法案ニ於キマシテ、政府ハ必ズ少クトモ四分ノ配當ヲ爲シ得ルダケノ益金ヲ補給致スコトニ相成ッテ居リマスカラ、其ノ效果ト致シマシテ、日本銀行ガ資産ニ缺陷ヲ生ズルト云フ事例ハ生ジ得ナイコトニナッテ居リマス、從ヒマシテ出資金額以上ニ出資者ニ責任ヲ負ハセルト云フ

○岩田宙造君 只今ノ御解釋ノヤウナコトニ此ノ法文ガ解釋出來ルカドウカハ、私ハ餘程疑問デナイカト思ッテ居リマスガ、御趣意ハ能ク分リマシタカラ、其ノ點ハ是デ止メマス、次ニ戰時金融金庫法案ニ付テ御尋ヲ致シマス、是ハ第一條ニ「戰時ニ際シ」トナッテ居ルノデアリマシテ、是ハ今回御提出ニナリマシタ他ノ色々法案ニモ同ジ文句ガ使ッテアッテ、同ジクはモ同様ノ意味ダラウト考ヘマスカラ、矢張り「戰時ニ際シ」ト

業務以外ノ各種ノ業務ヲ營ミマス、併シナガラ其ノ關係ノアル部分モアルノデアッテ、兩者ノ業務ガ關係アル部分ヲ考ヘテ見マスト、先ヅ第一ハ産業設備營團ニ於キマシテ、國家ノ緊要産業ニ屬スル設備ヲ建設スルト云フコトガアリマスガ、此ノ點ガコナラノ國家ノ緊要産業ニ對スル資金ノ融通ト云フコトト關聯ヲ持ツ譯デアリマスガ、産業設備營團ニ於キマシテハ何ト申シマスカ、サウ云フ設備ヲ擴張、増設スルコトガ相當危險度ガ高クテ、企業者ヲシテ自ら建設セシメルコトガ著シク困難デアル、斯ウ云ツタヤウナ場合ニ所謂國有民營的ナ組織トシテ、

リマス、從ヒマシテ何レモ政府ノ決定シマシタ産業方針ニ基キマシテ、産業設備營團ヲシテ建設セシムベキモノ、或ハ産業設備營團ヲシテ買上ゲシムベキモノト云フコトガ決リマシタ後ヲ、此ノ戰時金融金庫ノ方ガ金融的ナ途ヲ付ケル、斯ウ云フコトニ相成リマス、何レモ政府ノ具體的ニ決ツタ方針ニ基キテ、ソレレノ分野ニ於テ實行機關トシテ働ク、斯ウ云フコトニ相成ルト思ヒマス

コトハ、其ノ場合ガ出テ來ナイモノト考ヘマシテ、特別ナ規定ハ置イテ居リマセヌ、左様ナ趣旨ニテ了解シテ居ルノデアリマス

云フノハ戰時中ノ意味ト解スルノデアリマスガ、サウ致シマスト戰爭ガ繼續シテ居ル間ダケ此ノ法律ガ適用サレル結果ニナルノデアリマスルガ、ドウモ治安ノ維持ニ關スル法規デアルトカ、或ハ戰爭完遂ニ直接關係ノアル法規デゴザイマスルナラ、戰爭中ト云フコトガマア餘程ハツキリスルノデアリマスガ、本法ノヤウナ生産擴充、産業再編成ト云フヤウナコトヲ目的トシテ居ル金融ニ付キマシテハ、ドウモ戰爭ガ熄シタ直グ其ノ必要ガナクナルノデナクシテ、寧ろ戰爭ガ熄シタ後モ暫クノ間ハ……却テ戰爭ガ熄シタ後モ必要ナ事業ガ始ルコトモ想像ガサレルノデアリマシテ、戰爭中ダケト云フ立テ方ガドウモ適當デナイヤウニ考ヘルノデアリマスガ、寧ろ是ハ戰爭ノ爲ニ其ノ必要ガ起ルニハ違ヒナイノデアリマスケレドモ、此ノ法律ヲ適用シテ行ク上ニ於テハ戰爭中デナクシテ、戰爭ガ熄シタ後マダ暫クハ寧ろ當然必要ノヤウニ考ヘラレルノデアリマスカラ寧ろ戰時ト言ハナイデ、或ハ臨時ト云フヤウナ意味ノ方ガ適切ナヤウニ考ヘルノデアリマスガ、ソコハドウ云フ關係デアリマセウカ

シタ際ニモ、其ノ途端ニ直チニ此ノ戰時金
融金庫ハ目的ヲ失テ解散スルコト云フコ
トデナクテ、能動的ニ、更ニ積極的ニ事業
ヲ續ケテ行クコトハ目的カラ見テ困難ダト
思ヒマス、例ヘバ契約済ノ貸付金ヲ實行シ
テ行クトカ、或ハ戰後ノ直接戰爭直後ニ起
リマスル色々ナ有價證券、株界ノ變動ト云
フヤウナコトニ對應シマシテ、市價安定ノ
爲ニ措置ヲ執ルト云フコトハ出來得ルモノ
ト解釋致シテ居リマス、更ニ戰後ニ引續キ
マシテ御話ノヤウニ、色々生産擴充或ハ産
業再編成等ノ爲ノ資金ノ必要モアル譯デア
リマスガ、サウ云フ際ニ場合ニ依リマシテ、
此ノ目的ヲ、法律ヲ變更致シマシテ又存續
スルト云フ場合ガアリ得ルカト考ヘテ居リ
マス

○岩田宙造君 サウスルト「戰時ニ際シ」ト
云フノハ、外ノ法案ノ場合ハ戰爭繼續中デ
アツテ、平和克服スレバ其ノ瞬間ニ、モウ其
ノ以後ハ「戰時ニ際シ」ト云フ中ニ入ラナイ
ト云フコトニナツテ居ルヤウニ思フノデア
リマスガ、此ノ「戰時ニ際シ」ト云フ文字ハ、
矢張りソレト同ジニ解シテ宜イデアリマセ
ウカ

○政府委員(田中豐君) 例ヘバ産業設備營
團ナドノ「戰時ニ際シ」ト云フ言葉モ、戰爭
中デハアリマスガ、其ノ途端ニ直チニ解散
ノ事由ガ發生スルヤウニハ考ヘテ居ラレナ
イヤウニ記憶致シテ居リマスガ、多少ノ前
後ノ裕リヲ持ツコトダト、斯様ニ解釋シテ
居リマス

○岩田宙造君 サウ致シマスと戰爭ガ熄ミ
マシテカラ後ニハ、ソレ迄ニ融通シタ資本
ノ跡始末ニ付テ、此ノ法律ガ生キテ居ルダケ
デアリマスガ、或ハソレダケデナクシテ、戰

争ガ濟シデカラモ暫クノ間ハ、矢張り又新
タニ、此ノ法律ニ依ッテ融資スルコト云フコ
トモ出來ルノデアリマスガ

○政府委員(田中豐君) 融資等ニ付キマス
シテハ、積極的ニ戰爭ガ濟ミマシテカラヤルコ
トハ、多少ノ後ニ裕リガアルト考ヘマシテ
モ適當デヤナイカト考ヘマス、唯有價證券
ノ市價安定ト云フヤウナ措置ハ、戰爭直後
ニ必要ナル場合モアリマスシ、サウ云フ時
ニハ其ノ措置ヲ講ズルコトハ出來ル、斯様
ニ考ヘテ居リマス

○岩田宙造君 只今ノ點ハ其ノ程度ニ止メ
テ置キマスガ、何レニシマシテモ戰爭ガ熄
ミマシテ、サウシテ此ノ金庫ノ跡始末ヲシ
ナケレバナラスト云フ場合ニハ、是ノ類似
ノ法案デハ、皆其ノ時ノ處置ニ付テハ別ニ
法律ヲ定メルト云フヤウナ規定ガ設ケテアツ
タヤウニ思フノデアリマスガ、之ニナイノ
ハドウ云フ譯デアリマスガ

○政府委員(田中豐君) 第十一條ニ同様ナ
規定ヲ設ケマシテ、「解散ヲ必要トスル事由
發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ
別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム」トアリマス

○岩田宙造君 ア、サウデスカ、ソレハ見落
シテ居リマシタカラ……ソレカラ第四十四條
デアリマスガ、四十四條デ損失ガ生ジマス
シ場合ニ、其ノ損失ノ額ハ「特別融通損失審
査會之ヲ決定ス」ト云フコトニナツテ居リマ
スガ、是ハドウ云フ必要ノ爲ニ此ノ規定ガ
置イテアルノデアリマセウカ、或ハ此ノ損
失審査會決定サレタ損失ハ政府ガソレヲ
補償スル必要上設ケラレルモノカト思ヒマ
スガ、チヨット其ノ補償スル規定ガ見當ラナ
イヤウニ思ヒマスガ、チヨット伺ヒタイ
○政府委員(田中豐君) 此ノ金庫ニ對シマ

シテハ、損失ヲ補償スルト云フ、サウ云フ
損失ヲ補償スルト云フコトダケヲ表現致シ
マシタ規定ハ、此ノ金庫法ニ於キマシテ、
全體ヲ、政府ガ總テノ損失ヲ填補シマシテ、
尙民間出資ニ對シテ、五分ノ配當ガ出來マ
スヤウニ補給金ヲ交付スルコトニナツテ居
リマス、從ッテ個別的ニ損失ヲ決定シテ、ソ
レヲ補償スルト云フ規定ハ置カナカッタノ
デアリマスガ、只今御尋ノ四十四條ヲ置キ
マシタ趣旨ハ、此ノ金庫ノ貸付ハ設立ノ此
ノ金庫ノ性格カラ見マシテ、從來ノ金融眼
カラハ相當危險視サレテ居ルヤウナ金融ヲ
營ム譯デアリマシテ、元本ノ損失ト申シマ
スカ、貸付金ノ元本ガ貸倒レニナリマシタ
リ、或ハ株ヲ引受ケマシタ相手方ノ會社ノ
企業ガ駄目ニナルト云フヤウナコトモ豫想サ
レマス、デ普通ノ業務上ノ損失以外ニ、サウ
言ッタヤウニ、相當多額ノ金額ガ元本ニ於テ
損ニナル場合ガアルト思ヒマスガ、其ノ損
ト云フ場合ハ認定行爲ガ要ルノデアリマシテ、
實際ニ債務者ガ支拂能力ガアルカドウカト
言ッタヤウナコトニ付キマシテ、相當其ノ人
ニ依ッテ考ヘ方モ違フ場合ガアルト思フ、ソ
レデ斯ウ云フヤウニ一度金庫ノ損ト決定致
シマスルト、其ノ損ヲ政府ガ總テ補填ヲシ
マシテ、尙先程申シマシタ如ク民間出資ニ
對シテ五分ノ配當ヲ補給スル譯デアリマス
ガ、損ト決定スルカドウカニ付キマシテ、
相當ノ見解ノ相違モアリ得ルノデゴザイマ
スノデ、其ノ元本ノ損失ニ付キマシテハ、
特別融通損失審査會ト云フモノニカケマシ
テ、損ト決定ヲ公正ニ致シタイ、斯様ナ趣
旨カラ此ノ條文ヲ置イタ譯デアリマス

○岩田宙造君 五十八條ニ關聯シテデアリ
マスガ、日本協同證券株式會社ノ現在ノ利

益ニ付テハ、或方法ニ依ッテソレハ株主ニ
配當シテ、其ノ殘ヲ此ノ金庫ニ承繼サレル
ヤウナ御説明ガ衆議院等デアツカト思フ
ノデアリマスガ、若シ此ノ利益ヲ配當セラ
レルトシマス、ソレハドウ云フ時期、ド
ウ云フ方法デ株主ニ配當サレル豫定デゴザ
イマセウカ

○政府委員(田中豐君) 本法律ガ制定セラ
レマシタ後ニ於キマシテ、本金庫ノ設立迄
ノ間ニ日本協同證券ノ事業年度ヲ變更シマ
シテ、サウシテ其ノ最後ノ事業年度ニ於テ
配當スル、斯様ナ手續ヲ執リタイト思ヒマ
ス

○岩田宙造君 サウ致シマスと實際配當ノ
形式デ配當サル豫定デアリマスネ
○政府委員(田中豐君) 左様デゴザイマス
○岩田宙造君 分リマシタ
○松村眞一郎君 日本銀行法案ニ付テ第七
十五條ニ「日本銀行ハ第三十二條第二項ノ規
定ニ依リ保有スル金地金及金貨ノ價格ヲ定
ムルニ付テハ當分ノ内貨幣法第二條ノ規定
ニ依ラザルコトヲ得」スアルノデスカ、
當分ノ内ト云フノハ大體何カ御見込ガ付イ
テ居ルノデアリマセウカ、ドノ位ノ期間ト
云フ御考デアラウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(山際正道君) 第七十五條ニ於
キマシテ「當分ノ内貨幣法第二條ノ規定ニ依
ラザルコトヲ得」ト書キマシタ趣旨ハ、或一
定ノ期間ヲ豫定致シマシテ、當分ノ内ト云
フコトヲ書キマシタノデハゴザイマセヌノ
デ、寧ろ貨幣法第二條ノ規定ニ拘ラズ、臨
時的ニト云フヤウナ意味合ヲ示シタ積リデ
ゴザイマス、今後貨幣法ノ取扱ヲ如何ニ致
シマスルカ、實ハ此ノ點ハ衆議院ニ於キマ
シテモ、大藏大臣ガ或程度御答ヲ申上ゲテ

居ルノデゴザイマスルガ、只今ノ研究ト致シマシテハ、或ハ貨幣法ニ付テモ近キ將來ニ於テ何等カ改訂ヲ加ヘル必要ガアルノデハナイカト云フヤウニ考ヘテ居リマスル關係モゴザイマス、特定ノ期間ヲ豫定シテ居ル譯デモゴザイマセヌケレドモ、臨時ニ例外的ト申シマスルカ、其ノ規定ニ拘ラズ斯様ナ措置ヲ執ルト云フヤウナ意味合ニ於テ此ノ規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス

○松村眞一郎君 臨時的ト云フ御趣旨デゴザイマスガ、結局當分ノ内ト云フ意味ハ確定ノ期間ガナイトシテモ、何等カ見込ガアツテノ意味デナイト云フト私ハフカシイト思フ、當分ノ内ト云フ以上ハ、凡ソコンナコトガアツタ場合ニヤルノデアルト云フヤウナ御見込ガナイトフカシイ、ソレナラ初メカラ貨幣法第二條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得ト御書キニナレバ宜イノデ、當分ノ内ト云フトハ、ドウシテモ當分ノ内ト云フトコトデナケレバナラス、凡ソ何等カノ御考ガアルノデアラウト私ハ思フ、全然ナイノニ當分ノ内ト云フトコトハ、チヨット私ニハ見當ガ付カナイ、今近キ將來ニ於テト云フ御言葉ヲ御使ヒニナリマシタガ、遠キ將來ト近キ將來ト云フトコトニ付テモ亦考ヘナケレバナラス、何ガ近イノデアルカ、何ガ遠イノデアルカト云フトコトモ分ラナイ、凡ソ斯ウ云フトコトヲ考ヘテ居ルト云フ、何カソコニ御見込ガアルドラウト思フノデスガ、如何デスカ

○政府委員(山際正道君) 強ヒテ申上ゲマスレバ先程モ申上ゲマシタ通り、貨幣法第二條ニ付キマシテ或程度ノ研究ヲ進メテ居リマス、從ヒマシテ貨幣法第二條ノ規定ガ、之ヲ實質的ニ申上ゲマスレバ、其ノ研

究ノ結果何分ノ變更デモ生ジマス場合、其ノ變更ヲ見ル迄ノ間ト云フヤウナ氣持ニ於キマシテ、此ノ規定ヲ設ケマシタノデゴザイマス

○松村眞一郎君 第七十八條ヲ見マス「金準備評價法ハ之ヲ廢止ス」ト云フトコトニナツテ居リマス、此ノ金準備評價法ノ第一條ヲ見マス「日本銀行ハ兌換券ノ引換準備ニ充ツル金貨及地金銀ヲ當分ノ内貨幣法第二條ノ規定ニ拘ラズ純金ノ量目二百九十ミリグラムニ付一圓ノ割合ヲ以テ評價スベシ」、斯ウ云フトコトガ書イテアル、私ハ此ノ兌換銀行券ガ今度ハ無クナルノデアリマスカラ、此ノ評價準備ノ爲ノ評價ト云フトコトノ必要ハ、私ハ無クナッタラウト思ヒマス、併シナガラ二百九十「ミリグラム」ニ付一圓ト云フ其ノ評價ハ、茲ニ全然無クシテシマフト云フトコトハ、私ハドウ云フ理由デアアルカト云フトコトヲ能ク了解出來ナイ、此ノ七十八條ト七十五條トヲ茲ニ較ベテ考ヘマス、少クトモ「當分ノ内貨幣法第二條ノ規定ニ拘ラズ純金ノ量目二百九十ミリグラムニ付一圓ノ割合ヲ以テ評價スベシ」、ト云フ規定ヲ私ハ存置シテ置カレテ宜イノデヤナイカト思フ、何モ置カナケレバ、今度銀行券ヲ發行スル場合ニ於ケル物差ノ基礎ガ無クナツテシマフ、貨幣法モ施行シナイ、サウシテ金準備評價法ニ書イテアル金ノ換算モ此處ニ置カナイト云フトコトニナレバ、今度作ラレル所ノ銀行券ト云フトモノノ基礎ガ何處ニアルカト云フトコトガ、私ハ分ラナクナツテシマフト思フ、デ貨幣法第二條モ當分ノ内施行シナイ、此ノ換算モ施行シナイト云フト、今度ノ銀行券ハ何ノ標準ニ依ッテ何ト換算サレルノデアアルカ、非常

ニ私ハ分ラナイト思フ、サウスルト云フト今度出來マス貨幣ト云フモノハ、何ヲ御見込ニシテ國民ハ日本ノ……此ノ出資ガ一億ト云フ出資ガアリマスガ、一億圓ト云フタラドノ位ノモノカト云フトコトガ見當ガ付カナイ、是ハドウシテモ金準備評價法ニ書イテアル此ノ規定ダケハ存置シテ置カレル必要ガアルト思フ、全然無視シテ掛ラレルト云フトコトハ私ニハ了解出來ナイノデアリマスカ

○政府委員(山際正道君) 只今御指摘ノ日本銀行ガ保有シテ居リマスル金地金及ビ金貨ノ價格ヲ如何ナル基準ニ於テ定メルカ、是ハ現行法ニ依リマス「御説ノ通り、金準備法第一條ニ依ッテ決メラレテ居ルノデアリマス、之ニ關スル規定ハ、今回ハ第三十二條ノ末項ニ於キマシテ「日本銀行ハ第二項各號及前項ノ保證ノ價格ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受ケベシ」ト云フ規定デアリマスカ、此ノ規定ニ其ノ實質ガ移リ替リマシテ、日本銀行ガ保有致シテ居リマス金ハ、此ノ規定ノ結果ト致シマシテ其ノ保證價格ヲ定メマシテ、大臣ノ認可ヲ受ケルト云フトコトニ致シテアルノデゴザイマス、實質的ニ申シマス、金準備評價法決メテ居リマス所ノ價格ヲ、本法施行ノ曉ニ於キマシテハ差當リハ踏襲セシメル考デゴザイマス、尤モ將來金價值ノ變動等ニ因リマシテ、其ノ保證ノ價格ハ大臣ノ認可ヲ受ケテ變更スルコトハアリ得ルト思ヒマスガ、此ノ法律ノ切替ノ場合ニ於キマシテハ、第三十二條末項ノ規定ニ依ル價格ハ、現在ノ金準備評價法ニ依ル價格ヲ踏襲スル積リデアリマス

○松村眞一郎君 私ハ非常ニ差異ヲ生ズルト思フ、法律デ書イテアルコトヲ主務大臣

ノ認可デ御決メニナルト云フヤウナコトヲ改正ラサレルト云フトコトハ非常ニ變動デアルト思フ、價格ノ基礎デアリマスカラ、貨幣法ノ規定ヲ當分ノ内適用シナイト云フ、當分ノ内ニ付テモ今説明ガアツタノデ、貨幣法ノ改正ヲ見ル迄ト云フトコトヲ仰シヤツテ居ルトスルナラバ、ソレ迄ノ間ハ兎モ角之ヲ動カサナイト云フ積リデアアルナラバ、明文ニ書イテ置イテ宜カラウト思フ、サウデナイト非常ニ不安定デアアル、踏襲スル積リデアルト云フヤウナコトデハ、國民ハ非常ニ不安ヲ感ズルト思フ、銀行券ノ物指ノ基礎ガ分ラナイ、度量衡ニ於テ「ミリ」ナラバ「一」ハ是ダケノ長サデアルト云フトコトガ書イテアル、ソレナシニ貨幣ト云フトコトガ論ズルト云フトコトハ、全ク物指ノ基礎ヲナクシテシマツタコトニナツテ、ソレヲ全然大藏大臣ニ委任スルト云フトコトハ、私ハ到底許スペカラザル問題デハナイカト思フ、私ノ考ハドウシテモサウ云フ考ナラバソレデ宜シイ、金準備評價法ニ書イテアル、此ノ規定ヲ其ノ儘何處カニ置イテ、當分ノ内今仰シヤル通りデ宜イ、當分ノ内純金ノ量目二百九十「ミリグラム」ニ付一圓ノ割合ヲ以テ評價スベシト云フトコトヲ御書キニナツテ置イテモ宜カラウト思フ、ソレモ當分ノ内ナノデアアル、其ノ規定ヲ存置スベキデアルト云フトコトヲ私ハ意見トシテ申上ゲルノデアアル、尙其ノ點ニ付テハ非常ニ重大ナ問題デアリマスカラ大藏大臣ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマス、非常ニ私ハ大キナ問題デアルト考ヘマス、ソレカラ、ソレニ關聯スルノデアリマスガ、第三十二條ノ第六號ニハ、地金銀トアツテ、金銀貨ヲ含ムト云フトコトガ書イテアル、第二十條ノ第六號ニハ地金銀

ト云フコトダケシカ書イテナイ、此ノ第六號ノ方ニハ金銀貨ト云フモノハ含マナイノデアリマス

○政府委員(山際正道君) 第二十條ノ第六號ニ於キマシテ、地金銀ノ賣買ト致シテ居

リマスノハ、地金銀トシテ賣買致シ得ルモノニ限ツテ、之ニ該當スルモノト考ヘテ居ル次第デアリマス、唯保證ニ當テマス場合ニハ、現在モ金銀貨ヲ所有致シテ居リマスシ、ソレヲ充當サセル必要ガアリマスノデ、特ニ茲ニ括弧書フ致シマシテ、金銀貨ヲ含ムト云フコトヲ表示致シマシタノデアリマス

○松村眞一郎君 サウシマスト今後ハ金銀ト云フモノハ、モウ日本銀行デハ新シク蒐集サレナイ積リデアリマス、二十條ニ地金銀ノ賣買ノ中ニ賣買ト云フコトハ今度ハ言ヘナイカモ存ジマセス、併シナガラ金銀貨ト云フモノハ今後雖モ手ニ入レラレテ私ハ宜クハナイカト思フ、ソレハドウ云フヤウニナルノデアリマス

○政府委員(山際正道君) 第二十條ニ於キマシテ地金銀ノ賣買ト申シマスノハ、只今申上ゲマシタヤウナ次第デアリマシテ、金貨ヲ取得致シマスル場合ハ兩替ノ觀念デ金貨ヲ受取ツテ、ソレニ相當スル銀行券ヲ交換

フスル、斯様ナ觀念デ行キタイト考ヘマシテ、地金銀ノ賣買ト云フ觀念ニハ入レナイ積リデゴザイマス

○松村眞一郎君 兩替ヲサレルト云フコトニナルト、何圓ト何圓ト兩替サレルノデアリマス、サウ云フ兩替ヲ持つテ來ル人ハ私ハナイト思フ、ドウ云フコトデ兩替ヲサレルノデアリマス

○政府委員(山際正道君) 兩替ノ觀念ヲ執リマスル限リハ矢張り金貨ノ額面デ買ヒマ

ス譯デアリマス、御話ノヤウニ今日ノ時代ニ於テ、例ヘバ五圓ノ金貨ハ五圓其ノ儘デ持つテ來ル者ハナイト云フコトハ御説ノ通りカト思ヒマスガ、其ノ替ヘマス場合ハ、此ノ方ノ觀念デ行キタイ、地金銀デ買ヒマス場合ハ第二十條デ行ク譯デアリマス

○松村眞一郎君 ソレデアルト云フト、兩替以外ニ執ル途ガナイト云フナラバ、金銀貨幣ト云フモノハドウ云フコトニナルノデアリマス

○政府委員(山際正道君) ソレハ產金法ニ依リマシテ特別ノ許可ヲ得マシテ、金貨ノ鑄造シヨスルコトガ出來ル、サウシマスト金貨ノ姿ヲ一遍地金銀ニ變ヘマシテ、地金銀ニ變ヘルト致シマスト、二十條ニ於テ地金銀ノ賣買ト云フコトニナリ、只今ノ價格デ云ヒマスト十四圓ナニガシト云フモノヲ以テ五圓金貨ト云フモノヲ買フト云フ結果ニ相成ルノデアリマス

○松村眞一郎君 ソレデアリマスト、現ニ存シテ居ル金銀貨ト云フモノハ鑄造シテ買フノデアリマス、サウ云フコトニ了解シテ宜シイデスカ

○政府委員(山際正道君) 特別ノ許可ヲ得マシタ場合ハ鑄造シノ途ガゴザイマシテ、サスレバ地金銀トシテ賣買ガ許サレルガ、片方ニ額面デ申シマスレバ五圓ノモノデアリマスガ、恐ラクハ鑄造シテ、地金銀トシテ賣ルト云フ途ヲ選ブ人ガ多カラウカト思ヒマス

○松村眞一郎君 只今產金ノ問題ヲ御話ニナリマシタノデ、商工省ノ產金ノ方針ニ付テ伺ヒタイ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 今居リマセスカラ……

○子爵松友光君 臨時資金調整法中改正法律案ニ付テチヨット質問ガゴザイマスガ、宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 宜シウゴザイマス

○子爵松友光君 今回ノ改正案ニ於キマシテ、興業債券發行限度ヲ二十億圓カラ五十億圓ニ擴張サレタ、又貯蓄債券發行限度ヲ十億圓カラ二十億圓ニ擴張サレタ、又報國債券發行限度五億圓ヲ十五億圓ニ擴張サレタノデアリマス、私ノ記憶スル所ニ依リマス、昨年モ或程度迄擴張サレタヤウニ思ヒマスガ、果シテ斯カル諸債券ガ十分ニ消化サレルヤウナ實績ガアルノデゴザイマス、ソレ等ノ點ニ付テ御話ヲ願ヒマス

○政府委員(山際正道君) 興業債券ノ發行限度ヲ擴張致シマシタ分ニ付キマシテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、御指摘ノ如クニ昨年ノ春御協賛ヲ經マシテ、其ノ當時資金調整法ニ依ル興業債券ノ發行限度ヲ十億圓デゴザイマシタノヲ二十億圓ニ擴張サセテ戴イタノデゴザイマス、實ハ其ノ當時私モ伺ヒマシテ、マア二十億圓ニ御擴張願ヘレバ二年位ハ大抵持つノデハナイカト云フ趣旨ノコトヲ申上ゲタヤウニ記憶致スノデアリマスガ、實ハ其ノ邊ノ見込ガ違ヒマシテ、其ノ後ニ於キマスル生産力擴充關係ノ資金ノ需要ガ非常ニ急増致シマシテ、又其ノ他時局關係デ興業銀行ガ負擔ヲ致サナケレバナラス資金ガ激増致シマシタ結果、昨年中ニ於キマシテ興業債券ガ十億圓發行セラレテシマヒマシタ、其ノ結果現行法上ノ興業債券ノ餘力ハ非常ニ僅カナコトニ相成リマシテ、昨年末ニ於キマシテ五億七千百萬圓ヲ餘スノミト相成ツタノデゴザイマス、斯

様ニ一年間約十億圓ノ興業債券ヲモ調達シ得ル事情ガアルノデゴザイマス、今後ニ於ケル資金需要ノ増加等ヲ見合セマスレバ、ドウ致シマシテモ今後二三年ノ間ノ餘力ト致シマシテ、此處ニ掲ゲテゴザイマス二十億圓ヲ五十億圓程度ニ擴張致シマスコトハ、是非共今後興業銀行ガ仕事ヲ續ケテ參リマス上カラ必要デアルト云フ見地カラ致シマシテ、斯様ナ改正案ヲ立案致シマシタヤウナ次第デアリマス

○子爵松友光君 貯蓄債券、報國債券ノ關係ニ付テ……

○政府委員(相田岩夫君) 貯蓄債券、報國債券ノ關係ニ付テ私カラ申上ゲマス、現在貯蓄債券ノ發行餘力ハ、來ル二十一日カラ賣出ス豫定ノ分迄併セテ申上ゲマスト云フ、三億二千七百萬圓ト云フ僅カナ金額ニナツテ居リマス、又報國債券ノ發行餘力ハ、是モ同ジク來ル二十一日カラ賣出豫定ノ分迄入レテ申上ゲマスト云フト、僅カナ一億一千百萬圓ト云フコトニナツテ居ルノデアリマシテ、之ニ對シテ發行ノ實績ハドウカト申シマスト、昭和十六年度ニ於キマシテ、今月ノ豫定分迄入レマスト云フト、兩方デ四億二千二百萬圓、其ノ中デ貯蓄債券ガ二億四千八百萬圓ト云フ數字ニナツテ居リマシテ、今回若シ限度ノ擴張ヲシマセヌケレバ、來年度ノ發行ノ計畫ニ支障ヲ來スト云フ狀態ニ既ニナツテ居ルノデアリマシテ、是非之ヲ擴張スル必要ガアル次第デゴザイマス、貯蓄債券、報國債券共、最近ニ於テハ特ニ消化ノ成績ガ非常ニ良好デアリマシテ、斯クノ如ク限度ヲ擴張致シマシテモ、今後二三年間ニ於ケル發行ノ大體ノ豫定ト云フモノヲ頭ニ置イテ考ヘマシテ、債券ノ不消

化ヲ來スト云フヤウナコトハ絶對ニナイモノト考ヘテ居リマス

○子爵松友光君 大體了承致シマシタ、更ニチヨット伺ヒタイコトガゴザイマス、ソレハ浮動購買力ノ吸收ト云フ眼目カラ申シマシテ、富籤式ノ極小額ノ債券ト云フヤウナモノヲ發行シタラ宜イデヤナイカト云フヤウナコトヲ世間デ唱ヘル人ガゴザイマスガ、ソレニ對シテ大藏當局ハ如何御考ヘニナリマスカ

○政府委員(相田岩夫君) 一應私カラ御答ヘ申上ゲマス、現在報國債券ノ中デ、特別報國債券ト稱シテ居リマスモノガゴザイマス、世間デ所謂豆債券デアリマスガ、是ハ一圓ノ報國債券デアリマシテ、期限モ二箇年ト云フ短イ期限デ、ソレデ一等ハ五百倍ノ割増金ヲ付ケテ居ルノデアリマシテ、此ノ賣レ行キハナカクニ宜シイノデアリマス、唯此ノ特別報國債券ハ色々技術的ノ觀點カラ致シマシテ、巨額ノ發行ヲスルト云フコトガ稍、困難ナ事情ガゴザイマス、ソコデ只今仰セノヤウニ、浮動購買力吸收ノ爲ニ、小額ノ富籤ニ近イ債券ヲモット澤山發行スベキデハナイカト云フ考ガ當然起ッテ來ルノデアリマスガ、今申上ゲマシタヤウナ事情デ、特別報國債券ト云フモノヲ現在出シテ居リマスガ、技術的ニナカク澤山ハ出シ兼ネルト云フ關係モゴザイマスノデ、別途本議會ニ於テ御審議ヲ願ヒマシタ割増金付郵便貯金切手ト云フ制度ヲ始メマシテ、之ニ依ッテ今仰セノヤウナ富籤ニ餘程近イモノデ、小額ノモノデ浮動購買力ノ吸收ニ大イニ力ヲ致サウ、斯ウ云フ考ヲ取テ居ル譯デアリマス、貯蓄債券、報國債券ノ發行モ、先程申上ゲマシタヤウニ、最近特ニ賣

レ行キモ宜シク、行詰ッテ居ルト云フ譯デモアリマセスシ、今ノヤウナ割増金付貯金切手ト云フヤウナ制度モ、今後考ヘテ居リマスシ、又將來特別報國債券ヲ續ケテ出ス場合ニ於キマシテハ、今回ノ臨時資金調整法、ノ改正案ノ中デ御願ヒシテアリマス抽籤ノ回數ノ制限ニ關スル規定ヲ撤廢スルコトニ依リマシテ、割増金付與ノ方法ニ變化ヲ與ヘテ、之ニ依ッテ又今迄ヨリモ更ニ一步富籤ニ近イヤウナモノヲ發行スル途モ開カレル譯デアリマシテ、是等ノ方法ニ依リマシテ、浮動購買力吸收ノ方法ト致シマシテハ、差當リソレデヤッテ行ケルノデハナカラウカト云フ工合ニ、私共トシテハ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙富籤ノ發行ニ關シマシテハ、曩ニ大藏大臣カラモ本議會ニ於テ何處カデ答辯ガアッタコトト私承知致シテ居リマス

○子爵松友光君 詳細ノ御説明ガアリマシテ了承致シマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

〔松村眞一郎君 發言ノ許可ヲ求ム〕

○委員長(伯爵溝口直亮君) マダ今ノ商工省ノ產金問題ニ付テノ政府委員ハ來テ居リマセスガ、宜シウゴザイマスカ

○松村眞一郎君 私ハマダ條文ノ問題ニ付テ少シ御伺ヒシタイノデス、第六十三條ノ第二項「日本銀行ハ當分ノ内第三十三條第一項ノ規定ニ拘ラズ舊日本銀行ノ發行シタル兌換銀行券ト同一ノ種類及様式ノ銀行券ヲ本法ニ依ル銀行券トシテ發行スルコトヲ得」ト云フ規定ガアリマスガ、是ハドウ云フ必要ガアルノデアリマスカ、新シイ銀行ガ出來タ以上ハ、其ノ後ハ新シイ銀行券ヲ發行サレテ私ハ宜カラウト思フ、此ノ理由ガ分ラナイコトト、「當分ノ内」ト申サレルノハ、

何時迄ヤラレル御考デアリマスカ、其ノ二點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(山際正道君) 六十三條第二項ヲ設ケマシタ趣旨ハ、只今御話ノ通り、新シク法律ニ依ッテ姿ガ變リマシタ日本銀行デアリマスルカラ、今後出シマスル銀行券ハ新シキ様式ノモノヲ用フルノガ本筋ダトハ思ハレマスルガ、御承知ノ如ク、銀行券ヲ製造致シマスルニ付キマシテハ、相當高級ノ材料ト、高級ノ技術ヲ要シ、而モ相當長イ期間ヲ必要ト致スノデゴザイマス、而シテ現ニ日本銀行ニ於キマシテハ、現在ノ様式ニ依リマスル銀行券ヲ、相當多額ニ未發行券トシテ用意致シテ居ルノデゴザイマス、從ヒマシテ此ノ際ニ於キマシテ、ソレ等ノ未發行券、ソレカラ又現在外ニ出テ居リマスルモノガ窓口カラ回收セラレマシタヤウナ場合、マダソレガ使用ニ耐エルト云フ狀態ノ下ニ於キマシテ、ソレ等ノモノヲ一齊ニ不用ニ歸シマスルコトハ、如何ニモ不經濟ノヤウニ考ヘマスノデ、現在ノ様式ノモノヲ其ノ儘ソレ等ノ札ガ使ヘナクナリマスル迄出シテ置キマシテモ、格別弊害ハナイト考ヘマスルノデ、ソレ等ノ點ヲ考慮致シマシテ、斯カル規定ヲ設ケタ次第デゴザイマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 松村君ニ御伺ヒ致シマスガ、若シ商工省ノ方ガ直グニ來ラレナケレバ、明日ニ御譲リニナッテ宜シウゴザイマスカ

○松村眞一郎君 私ハソレデ結構デアリマス

○政府委員(山際正道君) 前回ノ御會議ニ於キマシテ、竹下委員カラ金ノ問題ニ關シマシテ御尋ガゴザイマシテ、其ノ御答ヲマ

ダ申上ゲテゴザイマセスカラ、要點ヲ御答ヘ申上ゲタイト存ジマス、御尋ノ第一點ハ、今回所謂管理通貨制度ヲ執ルト、何カ金ガ比較的不要ニナルヤウナ形ニナリハシナイカ、其ノ結果トシテ、日本銀行ガ金ヲ貯ヘナイヤウナコトニナリハシナイカ、サスレバ何カ別途ニ金ノ保有ヲ圖ルヤウナ必要ヲ生ズルノデハナイカ、斯様ナ趣旨ノ御尋デアッタカト思フノデアリマス、併シナガラ御承知ノ如ク、日本銀行ト致シマシテモ、金ガ尙國際決済ノ手段ト致シマシテ、相當重要ナ役割ヲ持ッテ居リマスコトハ、變ラザル事柄デゴザイマスルカラ、今後ニ於キマシテモ、其ノ持ッテ居リマス金ト云フモノハ、勿論機會アル毎ニ其ノ蓄積ヲ圖ルト云フ方針ヲ執ッテ參ル考デゴザイマス、尙ソレ以外ノ點ニ於テ金ヲ如何ニシテ保有スルカト云フ政策ニ付キマシテハ、御承知ノ通り、現在ハ金資金特別會計ニ於キマシテ、新產金等其ノ他民間ノ所在金ヲ買上ゲ、之ヲ金資金ニ於テ集中スル建前ヲ採ッテ居ルノデゴザイマスガ、是モ矢張り只今申上ゲマシタト同様ノ理由ニ依リマシテ相變ラズ今後モ繼續致スコトニ相成ッテ居リマス、ソレカラ其ノ次ニ、南方關係トノ決済ニ關シテ金ノ必要ニ付テノ御尋ガアッタヤウニ存ジマスガ、此ノ點ハ先程爲替局長カラ御答ヘ申上ゲマシタコトニ依ッテ御了承願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中豐君) 先程伊藤委員ノ御尋ニ留保致シマシタ滿洲ノ產業資金ノコトヲチヨット御答シテ置キマスガ、速記ヲ止メテ下サイ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ……

〔速記中止〕

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メテ……

○岩田宙造君 此ノ次デモ宜シウゴザイマスガ、今御許シテ願ハレマスレバ一ツダケ金融金庫法ニ付テ御尋ネシタイノデアリマスガ、是ハ先刻日本銀行法ニ關シテ御尋ネシタト同ジコトデアリマスガ、私ハ配當ノ補給ニ關スル規定ハ法人ガ解散ラシテ、最後ノ清算ヲスル時ニ、清算ノ結果生ジタ缺損ヲ補給スルト云フコトハ含マナイノダト私ハ思フノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ、金融金庫法デモ矢張り先刻銀行局長ガ答ヘラレタヤウニ、解散ラシテ清算ノ結果生ジタ損害ヲ補給サレル趣旨デアリマスカドウカ伺ヒタイ

○政府委員(田中豐君) 清算ノ時ニ損失ハ生ジナイト大體斯様ニ考ヘテ居リマスノデスガ、全然生ジナイト申シマス少シ語弊ガアルカモ知レマセヌガ、順次毎事業年度ニ總テノ損失補償ヲ致シマシテ、民間出資ニ對シテ年五分ノ配當ガ出來ル程度ノモノヲ補給シテ參リマスノデ、清算期間中ニ資産ノ殘リマシタ殘餘財産ノ値下リトカナントカ云フ場合ニハ其ノ損失ガアルト思ヒマスガ、其ノ時ハモウ配當ト云フ問題ハアリマセヌノデ、此ノ補給ト云フ規定ハ出テ來ナイカト思ヒマスガ、大體ニ於テ清算ニ至ル迄ニ總テノ損失ハ補給サレテ居ル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○岩田宙造君 若シ損失ガ出タ場合ハドウナリマスカ、是ハ矢張り配當補給ノ方ノ規定カラバソレヲ補給スルト云フ、填補スルト云フコトハ出テ來ナイト考ヘルノデアリマスガ、其ノ點ハドウ御考ヘナノデアリマセウカ

○政府委員(山際正道君) 私先程岩田委員ノ御尋ニ對シテ私申上ゲヤウガ惡カッタカモ知レマセヌガ、大體會社部長ガ申上ゲマシタ通り、最終ノ決算ヲ行ヒマス際ニ於テ、若シ資本ノ缺損ガゴザイマスレバソレヲ補填シテ、尙配當シ得ルダケノ金ヲ政府カラ補給致シマス結果、解散ヲ致シマス時ニ於キマシテハ、資本ノ缺陷ハナイノダト考ヘテ居ルノデゴザイマス、唯御話ハ既ニ清算ニ移ッテシマツテカラ、若シ損ガ出タラドウナルカト云フ御話カト思ヒマス、ソレハ私ハ實ハソコヲ補給スルト云フコトハ申上ゲル積リデハナカッタノデアリマシテ、其ノ點ハ保護サレテ居ナイ形ニナツテ居リマス

○岩田宙造君 此ノ金融金庫法ノ第六條ニハ「戰時金融金庫ノ出資者ノ責任ハ其ノ出資額ヲ限度トス」ト、斯ウ云フ規定ガ設ケテアルノデアリマスガ、此ノ意味ハ出資額迄ハ損ヲスルコトハアルカモ知レナイガ、出資額以上損ヲ掛ケルコトハナイト云フ意味ダラウト思フノデアリマス、デアリマスカラ、第六條ノアル意味カラ申シマシテモ、出資額迄ハ損ヲスルコトハ有リ得ルコトヲ豫想シテアルモノト私ハ考ヘルノデアリマスガ、如何デゴザイマスカ

○政府委員(田中豐君) 唯先程モ申上ゲマシタヤウニ、最終事業年度迄總テ損失ヲ補填致シマスカラ、結局資本ノ損ガ生ジマスノハ清算ニ入ッテカラノ問題デアルト思ヒマスガ、其ノ損ガ出資額迄ハ達シ得ル可能性ガ理論上ハ有リ得ル譯ダト思ヒマス

○岩田宙造君 サウ致シマス、金融金庫法ニ六條ガ置イテアリマス同ジ精神カラ、日本銀行法ニモ同様ノ規定ガアルベキダト思フノデアリマス、同ジ大藏省ノ提案

デ、同ジ場合ニ付テ一方ニハ有リ、一方ニハ無イノハドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(山際正道君) 御指摘ノヤウニソレハ全ク同ジデゴザイマス、唯同ジコトガ一方ニ規定ガアツテ、片一方ニ規定ガナイト云フノハ、實ハ格別ノ意味ヲ持タシタ譯デモゴザイマセヌノデアリマスガ、其ノ間形式ノ不統一ト云フコトハ或ハ御指摘ニナリ得ルカト思フノデアリマス、格別ソコニ意味ヲ設ケテ、片一方ニ設ケ、片一方ニ設ケナカッタト云フコトデハゴザイマセヌ

○岩田宙造君 分リマシタ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 明日大藏大臣ハ午後二時半カラ此ノ委員會ニ出席出來ルト云フコトデゴザイマス、午後一時半カラ會議ヲ開キマシテ他ノ質問ヲ願ヒマシテ、二時半カラ大藏大臣ニ對スル三案ノ御質問ヲ固メテ願ヒタイト存ジマス、本日ハ是ニテ散會致シマス、次回ハ明日午後一時三十分ヨリ開會致シマス

午後四時二十四分散會
出席者左ノ如シ
委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 男爵東久世秀雄君
委員
公爵鷹司 信輔君
侯爵蜂須賀正氏君
子爵加藤 泰通君
子爵裏松 友光君
子爵舟橋 清賢君
松村眞一郎君
後藤 文夫君
小倉 正恒君
男爵伊藤 文吉君
男爵八代五郎造君

男爵倉富 鈞君
竹下 豐次君
土方 久徵君
米山 梅吉君
瀧川 儀作君
岩田 宙造君
秋田 三一君
仲村 清榮君

政府委員
大藏次官 谷口 恒二君
大藏省銀行局長 山際 正道君
大藏省爲替局長 原口 武夫君
大藏省監理局長 長谷川 公一君
大藏省會社部長 田中 豐君
大藏書記官 楠田 光男君
同 伊原 隆君
國民貯蓄獎勵局長 氏家 武君
預金部長官 相田 岩夫君
貿易局長官 菱沼 勇君

大藏省
大藏省銀行局長 山際 正道君
大藏省爲替局長 原口 武夫君
大藏省監理局長 長谷川 公一君
大藏省會社部長 田中 豐君
大藏書記官 楠田 光男君
同 伊原 隆君
國民貯蓄獎勵局長 氏家 武君
預金部長官 相田 岩夫君
貿易局長官 菱沼 勇君

昭和十七年二月十日印刷

昭和十七年二月十一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局